



DEXTE-K (主宰 橋爪) 西なぎさ発「東京里海エイド」活動に参加 東京湾再生官民連携フォーラム

DEXTE-K主催、葛西海浜公園パートナーズ共催により葛西海浜公園／西なぎさにおいてビーチクリーンのボランティア活動が年を重ねて実施されている。後援している東京湾再生官民連携フォーラム事務局では、2024.05.18(土)に行われたビーチクリーンアップ活動に参加した。今回はその活動状況を皆様にお届けする。

■プラスチックごみの回収活動

当日は、晴天となり、心地よい良い風が吹き、ビーチでは多くの方が、BBQ 施設や海遊びにと賑わいを見せていた。9:30 から 1 時間ほどの海ゴミ、プラゴミの回収活動をおこなった。参加者は、74 名 (内こども: 13 名) で、グループ参加は、江戸川区子ども未来館、東京湾再生官民連携フォーラム、ICON クリニカルサーチ、エコー電子工業、イトーキ、東京電機大学ボランティア部らいふが参集した。

一時間ほどの作業だが、多くの漂流ゴミが集まった。プラスチックごみを意識してビーチを歩くと、すぐに、青や緑など砂とは異なる小さなプラスチックの破片に気が付く。これはビーチの端まで行くにはとても手ごわいと感じながら、砂浜に広がっているプラゴミのひどさに改めて驚くことになった。

■観察会

今回は、ラッキーにも、「江戸川区子ども未来館」による「水生生物の観察会」が行われ、クリーンアップ活動している最中に、西なぎさで沢山の種類の水生生物を捕獲し、実際に詳しく高木先生による解説がおこなわれた。この観察会は、子ども未来館の他にも共催の葛西海浜パートナーズとも連携した『干潟キッズレンジャー』の企画の一部になる。

海に行く頻度を東京湾大感謝祭 2023、横浜市役所アトリウム会場アンケート調査によると東京湾に行くのは、年に 1 回という方が、多数を占めている。みんながもっと気軽に東京湾、地元を海を意識して訪れる機会を増やしていきたいと思う。

ゴミにも拘わらず、多くの生き物が沿岸域に生息している状況も今回の観察会で気づかされる。中でも、ボラの稚魚、カニ等多く見ることができた。(写真)



◀回収プラごみ



▲プラごみ回収後 全員で記念撮影



▲さあ、始めようクリーンアップ 主宰 橋爪さん



▲西なぎさ プラごみクリーンアップ活動

▼観察会 子供たちへの説明 江戸川区子ども未来館

当日、清掃中西なぎさで捕獲したお魚たち 左下：ハゼ 右下：ボラ 右上：マメコブシガニ

